

平成29年度（一財）北栄スポーツクラブ事業報告

1 継続事業（北栄町から受託を受けていない法人自主事業）

〔目的・概要〕

法人の目的であるスポーツ活動の充実発展に寄与することを目的とした自主事業を実施した。

町民の健康と体力増進のため各種スポーツ行事をスポーツ推進委員や北栄スポーツクラブの各部の協力を得て実施するとともに、各種教室等の指導・運営の多くは法人職員が実施した。

〔事業実績〕

別紙①

〔特記事項〕

○特に法人職員が指導にたずさわった事業

- ・シニアスポーツ教室（年間106回）
- ・自然体験セミナーin 隠岐（2泊3日の宿泊研修）
- ・健康寿命日本一大作戦（7自治会）

○外部指導者を招き法人職員が企画・立案した事業

- ・はつらつ運動教室（年間43回）
- ・ジュニアスポーツ教室（年間18回）

2 施設管理等事業（北栄町から受託しているその他事業）

〔目的・概要〕

指定管理者として、北栄町からの受託施設（社会体育施設12施設）の円滑な管理運営に努めるとともに、町から受託した事業（北栄駅伝競走大会など）を実施した。

また、学校体育施設（町内4校）の一般開放事業の受付業務も行った。

〔施設の利用状況〕

別紙②

〔町からの受託事業〕

スポーツ少年団、東伯郡民体育大会、中部地区駅伝競走大会、北栄町駅伝競走大会、米鳥間駅伝競走大会、県民スポーツ・レクリエーション祭ほか

3 その他の活動

- ① 北栄町との協働事業・・・北栄町健康づくり事業（福祉課、健康推進課など）
- ② 第71回中部地区駅伝競走大会において、惜しくも4連覇はならなかったが2位と健闘した。
- ③ 北栄スポーツクラブのクラブ育成に努め一般の部は54団体962名の入会があり、大栄チェリーズが全国バウンドテニスラリー戦で1位に輝いた。
- ④ ジュニアの部の活動として少子化の中18団体317名の入会者があり、年間を通じ活動を行いドッジボール、バドミントン、陸上競技で全国大会に出場した。
- ⑤ 郡民体育大会において、男子が2位、女子は3位と健闘した。